



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和7年5月30日（金）
創立73周年 No. 3

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



雨の季節に育つもの

副校長 佐々木 恒

6月、梅雨の季節がやってきました。雨がが続くと外で遊べなかったり、少し気分が晴れなかったりする日もあるかもしれません。しかし、この雨は草木にとっては大切な【恵み】です。しとしとと降る雨の中で、花や木々はしっかりと根を張り、ぐんぐん成長しています。子どもたちもまた、日常生活や毎日の学習、友達との関わりの中で、少しずつ心と体を成長させています。うまくいかないことや、思い通りにならないこともあるかもしれません。しかし、そうした経験をして保護者や教職員、友達に支えられ、試行錯誤して課題解決していくことこそが、見えない【根】を育ててくれる大切な時間だと思います。児童一人ひとりが個性あふれる花を咲かせることができるようにしっかりと【根】を育てていけるように、着実に教育活動を行っていきます。

さて、6月7日（土）は、学校公開ならびに道徳授業地区公開講座があります。全学級で「特別の教科 道徳」の授業を公開します。今年度初めての学校公開となりますので、お子さんの学校生活の様子をご覧いただき、ご家庭でも話題にいただければ幸いです。「特別の教科 道徳」についてお伝えさせていただきます。目標は、小学校学習指導要領解説に次のように示されています。

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

道徳教育は、学校の教育活動全体で行っています。また、道徳教育の要として、「考え、議論する」道徳の授業を年間35時間（1年生は年間34時間）、計画的に実施しています。目標に示された道徳的な判断力、心情等は、見えない【根】の部分にあたるかもしれませんが、今後も教育活動全体を通して、本校の教育目標の一つである「豊かな心をもち仲よく助け合う子供」の育成に向けて取り組んでいきます。参観された道徳授業について、保護者の方が、考えたこと、感じたことをお子さんと話し合うことで授業でも大切にされている、**価値理解**（道徳的価値の意味や大切さを理解する）、**人間理解**（道徳的価値は大切であってもなかなか実現できない弱さが人間にあることを理解する）、**他者理解**（他者の感じ方が自分とは異なることを認識して、その多様性を理解する）が更に深まると思います。

学校と家庭が連携して、子どもたちが健やかに成長できるように、引き続きご理解とご協力をお願いします。

学び舎（烏山学舎）の取組について

烏山中学校、武蔵丘小学校、給田小学校、烏山北小学校、給田幼稚園、近隣の保育園の先生が集まり、烏山学舎合同研修会を年3回（6月・11月・2月）実施しています。今年度のテーマを「自分らしくよりよく生きようとする教育の充実」と設定して、大切にしている授業規律（小中の円滑な接続を目指して）や個に応じた指導方法の工夫やICTの活用（インクルーシブ教育推進に向けて）の視点から研修を行い、授業改善に努めます。3学期には本校を会場にして、授業公開を行い、協議会を実施する予定です。また、烏山中学校との連携として、毎年、から北寺子屋や運動会で中学生がボランティアに来校したり、生徒会が6年生に向けて中学校生活について説明会をしたり、中学生の職場体験を受け入れたりする取組も行っています。（副校長 佐々木）